

令和3年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

富士見が丘一丁目

日時：令和3年10月27日(水)13:00~14:00

場所：富士見が丘児童館

参加者：14名

富士見が丘二丁目自治会館建設について

参加者	一丁目に隣接している田代公園に自治会館を建設する予定とのことだが、どのような構想か。また、公開説明会は開催されるのか。
町長	富士見が丘二丁目の老人憩の家は、昨年度実施した耐震診断で危険な建築物であることが判明し、令和3年6月をもって閉館としている。 新施設については、富士見が丘二丁目と協議している。公開説明会は現時点で開催を予定していないが、富士見が丘二丁目地区から要望があれば開催するので、地区外からの参加についても検討する。
参加者	どのような造成を予定しているのか。できる限り自然環境に配慮して整備を行ってほしい。
町長	接道と同じ高さに切り下げ、裏側に土を足す予定である。 建物について、デザインや色合い等に配慮し、できる限り自然環境を保全する形での建築を検討する。また、法面下の住宅の安全面にも配慮した整備を行う。

子どもたちへのワクチン接種について

参加者	町としての「子どもたちへの接種についての基本的な考え」を教えてほしい。
町長	ワクチン接種についての効果や影響は、すぐには分からない。 町独自で判断することは難しいので、各自が判断できるようホームページ等に情報を掲載しているが、さらにさまざまなリンクを貼るなど、情報提供に努める。
参加者	日本では12歳以上からのワクチン接種だが、海外では5歳くらいから進めている国もある。ワクチンのリスクや危険度について情報収集に努めてほしい。

コミュニティバスについて

参加者	以前作成されていた運行時刻表が分かりやすかったので、ホームページに掲載してほしい。 また、昨年度にバス車内でスマホを使ってアンケートを実施していたが、バス利用者の多くは高齢者であるため、スマホでのアンケートは回答できない人が多いと思う。
町長	以前作成していたような運行時刻表も作成し、ホームページに掲載する。 交通アンケートについては、町民1,000名に対して郵送で行っており、若年層の回答を増やす試みの一つとしてオンラインアンケートを実施した。
参加者	西友へ買い物に行く際に利用するが、午後便にはちょうど良い帰りの便がない。また、JRとの乗り換え時間も合っていないのでダイヤを改正してほしい。
参加者	西友からの帰りに利用する停留所について、遠くて不便なため、中里防災コミュニティセンター前に変更してほしい。
町長	可能な範囲で検討する。
参加者	ラディアンと駅の間、中南信用金庫前にも神奈中バスと同様に停留所を設けてほしい。
企画政策課	縦型の時刻表は分岐を見落とす可能性もあるため、補足の時刻表としてホームページに掲載した。

	<p>バス運転手の午後の休憩時間は、労働基準法上必要な休憩時間であるため、午後便の間隔が空いてしまっているが、ご指摘を踏まえ時間の調整が可能か、事業者などと検討する。一方で、1時間では買い物が済まないという意見もあるので使い分けてほしい。</p> <p>JRとの乗り換え時間については、5便と8便の発車時刻に課題があることが判明した。しかし、ダイヤそのものを変更すると全体に波及するため、運転手にこの課題のある便の発車を考慮するようお願いした。</p> <p>中里バス停は、設置当時ロピアと西友両方に利便性のある買物用の停留所として設置した。しかし、ロピア撤退後、より西友に近い地点への移設を検討したが、交差点やカーブ等の問題で移設が出来ない状態である。中里防災コミセン前も県道からの入り口が狭く、大型車等の進入が禁止されているため、コミュニティバスも入れない。西友西側にある中里2丁目バス停なども併せて利用してほしい。なお、来年10月からは一色地区にあるザ・ビッグへの延伸を検討している。</p> <p>駅北口の中南信用金庫前は、路線バスでさえも乗降客数が少いため、利用率の低いバス停や路線を精査する方針である町としては、新設する必要性は低いと考えている。すでに中里バス停で中南信用金庫が隣接し、団地中央バス停では横浜銀行や郵便局が隣接している。また、駅のコンビニ内には中南信用金庫のATMもあることから、金融機関へのアクセスは一定数満たしていると考えている。</p>
--	---

防災行政無線について

参加者	放送内容が聞き取れないことがあるので対策してほしい。
町長	防災行政無線は、天候や風等の影響により聞こえづらくなることもある。無線で放送した際は、メールやツイッターで配信しているほか、電話でも放送内容を確認できるので利用してほしい。
防災安全課	<p>防災行政無線については、聞き取りづらいという連絡をいただいた際には、職員が次回放送の際に確認している。また、対応が必要な場合には、保守点検等の際、スピーカーの向きの変更や音量調整なども行っている。</p> <p>ただ、全ての方において聞きやすくすることは困難な為、メールや電話（0463-72-0039）でも確認出来るようにしているので活用してほしい。</p> <p>また、今年度から災害時の避難情報に関してハザードエリア内にお住まいの方に関して固定電話に直接、防災無線情報を配信する緊急情報配信サービスも開始した。</p>

土砂災害警戒区域について

参加者	土砂災害特別警戒区域に指定された民地について、改善するように町から指導できるようになったのか。
防災安全課	<p>土砂災害特別警戒区域の指定は対策工事を直ちに行うものではなく、危険性の周知を促すことを目的としており、地権者には区域の指定に合わせて、県から管理に関する連絡がされている。</p> <p>町の対策としては、ハザードマップでの危険性の住民周知と大雨など危険が予想される際に避難指示の発表など災害時に住民の安全確保するための対策となる。</p>
都市整備課	指定された民地に対して、町が指導することはできない。風雨や大雨などにより崩落事故が発生してしまうと、所有者に損害賠償責任が発生する場合もある旨、広報にのみや8月号で周知した。今後も引き続き周知する。

ごみガイドブックの更新について

参加者	ごみガイドブックを発行してから期間が経つが見直しはしないのか。
-----	---------------------------------

町長	時代により項目の加除も必要だと思っているので見直ししていく。
生活環境課	既存のごみガイドブックほど詳細なものではないが、若干の補足事項を加えた「ごみガイドブック簡易版」を昨年度末に作成しており、窓口配布を行っている。

民地の草刈りについて

参加者	草刈りがされていない民地について、防災上の危険があるため、草刈り等管理の啓発をしてほしい。
政策担当部長	歩道等にはみ出している部分については、町で草刈りなどは実施できる。
消防課	空き地及び空き家管理として、枯れ草等の燃焼の恐れがある場合については、二宮町火災予防条例第 24 条「空地及び空家の管理」及び「二宮町における空地等の火災予防危険の除去に係る指導要綱」により指導を実施している。

J R のダイヤ改正について

参加者	J R 下り線について、平塚止まりや快速が続き二宮駅に停車しない不便な時間帯があるので改善するよう J R へ要望してほしい。
町長	毎年 J R へ要望するタイミングがあるので併せて要望する。
企画政策課	県下の自治体や鉄道事業者で組織された会議体があり、すでに平塚止まりの解消などについて毎年要望している。

小学校の通学路等について

参加者	現在、新型コロナウイルスの対応として登校班を分けるなど、人数に定めはあるのか。通学路について、迂回し遠くなってしまっている。北口の商店街（はな通り）や、その裏道を使うなど、変更することは可能か。また、スクールバスの運行は検討しているか。
町長	保護者と学校の話し合い等で通学路の変更は可能だが、安全を第一に考える必要がある。学校の統廃合が進む場合には、スクールバスの運行も検討する。
教育委員会	通学路の選定・変更や登校班の編成については、PTA を中心に協議されている。学校はその結果を受けて安全性を確認しているため、変更を希望される場合は、まずは PTA の中で協議していただきたい。

町施設での食事について

参加者	新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきており、そろそろボランティアグループで食事会等を児童館で開催したいと考えているが可能か。
町長	11 月 1 日から町施設の利用定員を通常に戻すが、同日から飲食可能とはいかない。感染状況を慎重に見ながら判断するので、食事会はもう少し控えてほしい。
財務課	12 月 1 日から児童館で食事会等を開催することは可能とした。ただし、対人距離の確保、飲食時以外のマスク着用など、二宮町新型コロナウイルス感染症対策公共施設利用ガイドラインを遵守し利用してほしい。

新庁舎建設等について

参加者	新庁舎を建設するような計画があるが進捗状況を教えてほしい。
町長	ラディアン周辺に移設を検討している。

	<p>ラディアンも 20 年が経過しており、大規模改修が必要となっているほか、町民センターや二宮小学校体育館も老朽化しているため、駅前も併せた基本計画をワークショップ等で意見を聞きながら策定中である。</p> <p>庁舎は耐震性の不足や空調も古く、特に夏場は我慢しろでは済まされない程の暑さの中で執務をしており、仕事をする環境ではない。</p>
施設再編課	<p>現庁舎は、老朽化が著しく耐震性も不足しているため、これまで補強や建替え、移転など、費用対効果について検証を行い、移転が最良と判断したうえで検討を進めてきた。今後も、町民の声を聞きながら、早期移転に向け事業を進めていく。</p>